

まえがき

あなたは、「三毒」という言葉をご存じでしょうか？ 仏教において、克服すべきものとされている最も根本的な3つの煩惱のことを示しています。その煩惱を毒にたとえたものです。心の三毒として、貪瞋痴と言われております。

貪とは、むさぼることです。貪欲に際限なく欲することです。動物的欲求や物欲、または金銭欲が強すぎるのが貪といわれています。しかし、無欲が良いというわけではなく、向上心からくる欲なら良しと言われています。

次に、瞋とは、感情をぶちまけることです。不快なものに対して激しく怒ったり、妬んだり、恨んだりすることです。不快な感情を周囲に向けてより不快にさせてしまうことです。最後に痴とは、無知であるということです。常識知らずで、自己弁護に走ったり、自分のことしか考えなかったりすることです。

つまり、愚かなことであるということになります。

私はこの言葉を知ったとき、大変なショックを受けました。「知らないこと」が罪であるという認識がなかったからです。よくよく考えると、本当にそうですよ。知らないことで、迷惑をかけてしまったりすることもありますし、その時代や地域によっても常識が違っていたりもします。とても深い言葉だと思い、忘れることができない、インパクトのある言葉として心に響きました。

また、ある本のフレーズが、今でも心に刺さっています。それは、『高次元存在バシヤール（ビシヤール）からのショートメッセージ』という本の中の一節です。

『あなたが体験したことも誰かに話してあげましょう。どんなに不思議な体験でも、その話を必要としている人たちがいます。一人一人の体験は、人類の財産です。貴方は、その体験をするために産まれてきたのです。』

出典：『高次元存在バシヤール（ビシヤール）からのショートメッセージ』森本康彦著 つきぬけboo

ks

この言葉は、とても衝撃だったうえに、優しく光のように感じ、温かく包み込んでいたように感じた。

そして、背中を押されるような感覚を覚え、ある決心をしました。

それは、自分が本当にやりたいことをやってみよう、という想いから、以前からやっていたブログのタイトルを変えることにしたのです。

即行動、すぐチャレンジするのがモットーの私には、いてもたってもいられず、直ちに実行することにしました。

ブログのタイトルはなぜかすぐに思いつきました。それは、ある方のブログを見ていたときに、ふっと浮かんだフレーズでした。そして、ブログのヘッダーはプロにお任せしようと思ったのです。イメージはすでに浮かんでいました。この作戦は、成功しました。

ブログの内容は、すぐに、皆さんに理解されなくても良いと思っていました。むしろ、何万というブログの中から、読んでいただけるのはよっぽどのことかもしれないからです。

そして、同じ「主婦」という立場から、スピリチュアルをどんなふうにアピールしていけばよいのかを考えて、自分なりに素直な気持ちで書けばいいのではないかと思ったのです。

なにぶんにも、「主婦」というのは忙しいものですよね。

毎朝、起きてすぐに、朝食の支度やお洗濯、お子さんがいればお子さんの世話やお弁当作りなどがあげられます。更には、ゴミを出したり、ご主人のお弁当作りがあつたりする方もいらつしやるかと思えます。仕事をされていれば、パートに出かけ、自営なら自宅での仕事に従事しなければなりません。

仕事帰りには、夕飯のメニューのお買い物を済ませ、大至急で帰宅しなければなりません。お子さんがいれば、お迎えに行く方もいらつしやいます。夕ご飯が済めば、後片付けや洗濯などを整理したりします。

お子さんをお風呂に入れて、やつと、自分の時間が少しでもできる程度です。

更には、嫁・姑問題やご近所付き合い、お孫さんをめでたく授かれば、お孫さんのお世話が続いています。最後に親の介護、等々の目まぐるしい日常が繰り返られます。

毎日、戦争のように忙しく、きつと、「自分はなんのために生まれたのだろうか？」などと思う暇さえない日々が続くことになります。

はつと気づいたときには、「あれをしておけばよかった」「こんなことはしなきゃよかった

た」などと、悔やむときが来るかもしれません。

現に、あるアンケートによりますと、お年寄りが死を間近にしたとき、特に悔やむことが、「もつとやりたいことをやっておけばよかった」ということだそうです。それは、日本だけのことではなく、世界中のお年寄りが感じていることにとても注目すべきだと思います。

私は、主婦でも同じことが言えるのではないかと思っています。日々の暮らしに忙殺されながら、本当はこんなことがしたかったのにやれなかったと悔やむより、今からでも遅くはないと思います。

あなたも、「今、本当にやりたいこと」を素直にやってみませんか？ あなたは、挑戦・チャレンジという言葉にどんなイメージが思い浮かびますか？

「私には、どうせ無理」とはじめから諦めず、ちよつとだけ、勇気を出してみませんか？ 私がちよつとの勇気で夢が叶ったのは言うまでもありません。ブログをリニューアルしてから間もなく、それこそ1週間ぐらいのことでしたが、本を執筆しませんかというお話

を頂くことになったのです。

このような奇跡的な話があるでしょうか？

私にとつては、宝くじを当てたような感覚で、初めは信じられず戸惑ってしまいました。しかし、次に感じられたのは、喜びとワクワクしかありませんでした。

こんなチャンスを逃してはならないと思ってしまうました。そして、それをさせていただくことを、自分なりに考察してみました。

もしかしたら、自分の考えや体験話が、役に立つ人がいるのではないか、そんな気づきやきっかけにでもなってもらえればいいのではないかと思えたのです。

執筆に関しては、正に、人生お初のチャレンジで、ドがつくほどの素人なのですが、ここは勇気を出して前に突き進むしかないと思いました。

できるなら、この本が、あなたにとって少しでもプラスになればと祈るばかりです。ごく普通のどこにでもいるおばさんの話と、ちょっとだけスピリチュアルなお話で「三毒の痴」を知るきっかけにしていただけると嬉しいのです。